外国人とともに生きる大田・市民ネットワーク 会報

OCNet つうしん通信

No.132
2025-8.1

NEWSLETTER

第１７回一般社団法人 OCNet 社員総会報告

OCNet 代表理事　天明尚子

２０２４年度は新型コロナウィルスの流行も沈静化し、コロナ禍以前と変わらない活動ができるようになりました。

第１７回一般社団法人 OCNet 定時総会は、５月１８日（日）の１３時３０分より mics おおた教室にて開催しました。

正会員出席 17 名、委任状提出 17 名、計 34 名で、社員総数 48 名の４分の１を超え、総会の成立が宣言されました。第１議案「2024 年度活動報告」、第２号議案「2024 年度決算報告」第３号議案「2024 年度監査報告」、第４号議案「2025 年度活動方針案」、第５号議案「2025 年度予算案」の次第に沿って各理事より説明があり、満場一致により議案通り全て可決、承認されました。また、これまで「協働」は相談・にほんごのひろば・にほんごのひろばこども教室としてきましたが、２０２５年度より相談・〔子ども・若者支援〕・〔ネットワーク〕・にほんごのひろば・にほんごのひろば子ども教室の５つに分類することとしました。第６号議案「役員改選」は、任期満了により理事の改選が行なわれ、葵佐代子、大野美子、黒瀧真澄、琴崎馨、鈴木洋子、天明尚子、中澤玲子、西尾加朋、舩津清美、會澤美枝が選任され就任しました。また、改選時期をそろえるため監事鶴田雅英より辞任届が提出され、監事の改選も行ないました。

16 時 20 分、全ての議事を終了し閉会しました。

今回総会の議事録作成を佐藤進一郎さんが担当し、理事の改選で新任の會澤美枝さんが加わることになりました。OCNet の今後を見据え、できるだけ多くの方たちに積極的に活動に関わってもらいたいと思っています。研修会なども要望に応えて企画していきたいので、皆さんの声を聞かせてください。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

「移住者と連帯する全国フォーラム 2025 in 北関東」に参加して

OCNet 理事　琴崎　馨

標記のフォーラムに、琴崎が参加した。概要は下記の通り。
日時：2025 年 6 月 21 日（土）13:00～22 日（日）11:30
場所：ビエント高崎（高崎市問屋町 2-7）
主催：移住者と連帯する全国フォーラム 2025 in 北関東　実行委員会

＜1 日目・6 月 21 日（土）＞
基調講演：
差別の「現場」を取材して～地域を壊す在日クルド人ヘイト
安田浩一（ノンフィクションライター）
フェイク動画が SNS にあふれ、クルドの子どもたちを苦しめている。ヘイトは県外組が起こしている。このような不健全な状態を放置する日本であっていいのか。

人種差別撤廃法の現段階と課題
師岡康子　（弁護士・外国人人権法連絡会）
日本には、外国人を規制する法律はあるが、外国人の基本的人権を尊重する法律がない。2016 年にヘイトスピーチ解消法が成立した。これを出発点にして、人種差別撤廃法の成立を目指したい。外国人人権法連絡会が、2022 年 6 月に、人種差別撤廃法のモデル案を発表した。さらに詳細の詰めを進めている。

15:00 より、七つの分科会が開かれた。
1）入門編　2）労働　3）技能実習・特定技能 4）医療・福祉・社会保障、5）子ども・わかもの、6）自治体施策　7）人種差別・ヘイトスピーチ
琴崎は、第 5 分科会（子ども・わかもの）「外国ルーツの子の心の声を聴き、進路を考える」に参加した。

司会は、東洋大学の村上一基さん。
報告 1：「群馬県　官民連携による、外国とつながる子どもの心のケアの体制づくり」
～一人一人がその能力を発揮できる環境づくりをめざして～
本堂晴生　（NPO 法人 G コミュニティ　代表理事）
同化主義と多民族主義の折衷、多文化交流主義、インターカルチャリズムをめざす。
心理カウンセリングを母国語で。学校との連携は必須。支援活動を「見える化」。

報告２；仮放免高校生奨学金プロジェクト
加藤　（移住連 PT 反貧困ネットワーク）
仮放免の処遇を受けている外国人は、住民登録なく、労働ができない。
高校生にとっては、高校無償化の対象外。健康保険にも入れず、医療にかかれない。
財政的支援をしている。大学生チューターによる心理的支援。
Q&A：
（本堂）「正論」より「具体論」を。「べき論」の正論を言わない。結論を一つに絞らない。

＜第２日目：６月 22 日（日）＞
「非正規滞在者の蝕まれる健康と深刻なる医療」
長澤正隆　（特定非営利活動法人北関東医療相談会）
健康は、「生き抜く力」である。在留資格がないと、健康に暮らせない。
医療機関は、移民・難民に高額医療費設定を止めて欲しい。
数件の事例を説明。

「外国人・民族的マイノリティと移民・難民に関する人権基本法」の制定の必要性
丹波雅雄　（弁護士）
日本国憲法の主語は日本語では「国民は」となっているが、英訳文では「People」となっている。「一切の自然人は」と置き換えるべき。
2021 年の関係閣僚会議での「多民族多文化共生」施策でも、基本は管理となっている。「外国人民族的マイノリティ人権基本法」が必要。仮案は、6 章からなり、33 条まである。外国人から言葉を奪い、宗教を奪った植民地政策への反省が必要。

「外国人・民族的マイノリティと移民・難民に関する人権基本法」について
佐藤信行　（外国人人権法連絡会）
韓国の憲法では、「外国人は国際法と条約の定めにより、基本的人権を保障する」とうたっている。日本は、国際人権条約にも 1979 年に加盟しており、「外国人・民族的マイノリティと移民・難民に関する人権基本法」をつくるべき。2020 年９月に、「人権基本法　作成部会」が発足した。

10:50 からは、カポエラ・アンゴラによる、ドラム演奏を中心としたパフォーマンスが披露され、会場を盛り上げた。

以上が、フォーラムの内容の要点抜粋。11:30 に終了した。

なお、フォーラムの内容の充実もさることながら、個人的には、１日目の閉会後の懇親会の二次会で、移住連メンバー某氏の話が印象に残っている。

曰く：

優生思想は間違っている。日本で外国産のミドリガメが増えたために本来のカメが絶滅したという論があるが、あれは間違い。祭りの夜店で日本の小さなカメが子どもに売られていたが、業者による乱獲のために日本のカメが激減し、業者が子どもに売るためにミドリガメを大量輸入したというのが本当の話。そもそも、生物の種の増減を人間がコントロールできるわけはないし、しようとするのは間違い。よって、外来種から在来種を守ろうとする運動もおかしい。地球上の生物は、ヒトを含め、移動を繰り返すことで発展してきた。外国人を排斥することにより日本人を守ろうという論も、当然、おかしい。

にほんごのひろば学習者とスタッフによるお花見２０２５

３月３０日多摩川河川敷の土手でお花見をしました。その様子を写真でお伝えします。

「日本語でプレゼンテーション」への参加について

OCNet 理事　琴崎　馨

2024 年 11 月 17 日（日）に、従来と同様に、「日本語でプレゼンレーション」が開催された。

場所：おおた国際交流センター（Minto　Ota）

主催：国際都市おおた協会

この年は、12 人の外国つながりの人達が日本語で発表をした。

発表者の出身国は、中国が５人、台湾、イタリア、米国、ロシア、パキスタン、ベトナム、バングラディシュから各 1 名。各自の時間は 5 分。今回は、12 人のうち 4 人が子ども。プレゼン発表から審査結果発表までの時間は、ゲームで盛り上がる。

OCNet 日本語教室の学習者からは、水曜大人クラスと金曜大人クラスで勉強している、バングラディシュ出身のホサイニ・モハマド・サイフル・イスラムさんが発表した。タイトルは「外国人として日本で暮らす：文化と社会への適応のメリットと挑戦」。充実した内容の発表であった。

12 人のうち５人に賞が送られた。

最優秀賞は中国ルーツの小学生。タイトルは「しょうがっこう　だいすき」であった。優秀賞は台湾と中国の発表者。審査員賞は米国と中国の発表者に送られた。

和やかな会となった。

おもな活動報告

■お花見
　３月３０日（日）多摩川土手

■第１７回一般社団法人 OCNet 社員総会
　５月１８日（日）会場：mics おおた会議室

■中国帰国者センター課外授業
　６月１９日（木）サファリパーク・こんにゃくパーク

今後の活動予定

■高校進学ガイダンス
　７月２０日（日）　大田会場　六郷工科高校
　１０月５日（日）　品川会場

■にほんごのひろば
　日程未定：勉強会

■大田区平和都市宣言記念事業「平和のつどい」第二部平和記念花火鑑賞会
　８月２８日（木）会場：多摩川河川敷

■中国帰国者センター「センターの集い」実施予定
　１１月１６日（日）

～　なつやすみのおしらせ　～

にほんごのひろば	８月６日（水）～８月２９日（金）
にほんごのひろば子ども教室	７月３０日（水）８月９日（土）～８月１６日（水）
中国帰国者センター	８月９日（土）～８月１５日（火）

～事務局から会費納入のおねがい～

　いつも変わらぬご支援ありがとうございます。２０２５年度会費がまだの皆様へ、会費の納付をお願いします。ご不明ことがありましたら下記のメールアドレスまでお問い合わせください。
　三菱ＵＦＪ銀行　蒲田支店　普通預金　0038048　ｲﾂﾊﾟ ｿｼﾔﾀﾞ ｿﾎｳｼﾞ ｿｵｰｼｰﾈｯﾄ

発行／一般社団法人ＯＣＮｅｔ
URL: http://www.ocnet.jp
住所 ： 〒144-0051 東京都大田区西蒲田 6-36-14 TKK マンション 1F
Address : 1F, 6-36-14 Nishikamata, Ota-ku, Tokyo, 144-0051
TEL＆FAX : 03-3730-0556　E-mail : jimukyoku@ocnet.jp